

民間事業者からの提案 梅小路公園「京都水族館(仮称)整備構想」の受理について

京都市は、この度、オリックス不動産(株)から、梅小路公園北東側の一面と隣接する倉庫跡地を活用した「京都水族館(仮称)整備構想」の御提案をいただきました。

この京都水族館(仮称)は、国内最大級の内陸型水族館であり、京都で初めてとなる海洋環境を本格的に体感できる社会教育施設として、大きな役割を果たすことが期待できます。

この構想の実現により、梅小路公園は、現在の公園施設、梅小路蒸気機関車館とともに、ご家族、子どもたちから若者、お年寄りまで幅広い層の市民や観光客の皆様に更に親しまれ、多様に楽しんでいただける大きな交流拠点、観光スポットとなります。

豊かな森が、豊かな海を育てます。森・海・都市は有機的に連鎖し、ひとつの融合した環境を創っています。水族館という「海」が、都心部において緑豊かな森を満喫できる梅小路公園に誕生すれば、環境問題を考える上でも大きな意義を有することとなります。

今後、京都市では、第三者委員会での審議や市民の皆様からの御意見を踏まえ、水族館建設の妥当性を検証し、市の方針を決定します。

1 提案(京都水族館整備構想)の概要

(1) 設置場所

梅小路公園に隣接する京神倉庫跡地及び園内のメイン園路北側区域の一部
(現在、イベント会場やバックヤードとして利用しているスペースを活用)

… 別紙1「梅小路公園平面図」参照

(2) 構造 鉄筋コンクリート造、地上3階建て

… 別紙2「イメージ図(内観)」参照

(3) 面積 敷地面積 約10,000㎡ 【梅小路公園の面積は、117,113㎡】 延床面積 約14,000㎡

(4) 特徴

国内最大級の内陸型水族館

内陸に立地する水族館では、国内最大級の規模となる。

京都で初めての本格的な水族館となる。

環境共生型水族館

梅小路公園の緑豊かな自然環境と水族館が提供する海洋環境により、「緑」と「水」を体感できる。

次代を担う子どもたちをはじめ幅広い年齢層が、海洋環境を本格的に体感し、体験的に学べる環境学習機能を備えた水族館とする。

人工海水の使用、海水の循環による排水量の低減など、環境にやさしい施設とする。

地域に愛される水族館

環境教育や文化、交流の要素を盛り込んだ催しを通して、京都に住む市民の皆様に愛される水族館とする。

梅小路公園や周辺地域の更なる活性化に貢献する施設とする。

… 別紙 3 「提案書」 参照

(5) 年間入場者数 (オリックス不動産(株)による開業初年度の需要予測)

約 200 万人

(6) 開業予定 平成 23 年度

(7) 提案主体 オリックス不動産株式会社

同社は、「新江ノ島水族館」(平成 16 年 4 月開館)の運営実績があり、そのノウハウを京都水族館に活用していく。

2 今後の進め方

第三者委員会を早期に設置し、水族館設置の妥当性について審議いただく。

あわせて、市民意見を募集し、それらを踏まえ、年内を目途に水族館建設についての京都市の方針を決定する。

(参 考) 梅小路公園の概要

京都市が平安建都 1200 年記念事業として整備した都市公園。

都心部に位置しながら豊かな緑を満喫できる憩いの空間として、市民に広く親しまれている。

また、災害時の広域避難場所としての機能も併せ持つ。

○ 所在地 京都市下京区観喜寺町 他
JR 京都駅から西へ徒歩約 15 分

○ 面積 117, 133 m²

○ 開設年月日 平成 7 年 4 月 29 日

○ 主要施設等

いのちの森(約 10,000 m²)、芝生広場(約 25,000 m²)、朱雀の庭、緑の館、ふれあい広場、チンチン電車、河原遊び場、七条入口広場、駐車場

○ 管理運営 財団法人京都市都市緑化協会 (平成 18 年度～ 22 年度)